

[業界別レポート]
働く人と職場2018
－居酒屋編－

[業界別レポート] 働く人と職場 2018－居酒屋編－ とは

「[業界別レポート] 働く人と職場 2018」は、特定の業界で働く意識や職場に関する意識について、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートは居酒屋を対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、居酒屋での就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、居酒屋での就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。なお、居酒屋編では企業側の回答者数が少ないためレポートでは割愛しています。

居酒屋業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
まとめ ―それぞれの上位5項目―	3
1. 仕事の選択理由	5
2. 仕事を継続する理由	6
3. 離職の理由	8
4. 必要を感じる改善点	9
5. 意向・非意向の理由	10
【参考】勤務時間	12

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2017年9月27日（水）～9月29日（金）
企業側のみ追加調査 2017年10月27日（金）～11月13日（月）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - 個人側
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人
 - 企業側
 - －現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職（課長・店長以上）・経営層、かつ人事・労務・教育または経営企画・総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象は居酒屋の、計656人。

		個人側				企業側	(人)
		就業経験者		就業非経験者			
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者		
コンビニエンスストア		200	100	200	200	4	
ホテル・旅館		200	100	200	200	20	
飲食店	ファーストフード	111	100	200	200	11	
	居酒屋	156	100	200	200	13	
アパレル・雑貨販売		200	100	200	200	21	
介護サービス		200	100	200	200	43	
ドライバー		200	100	200	200	101	

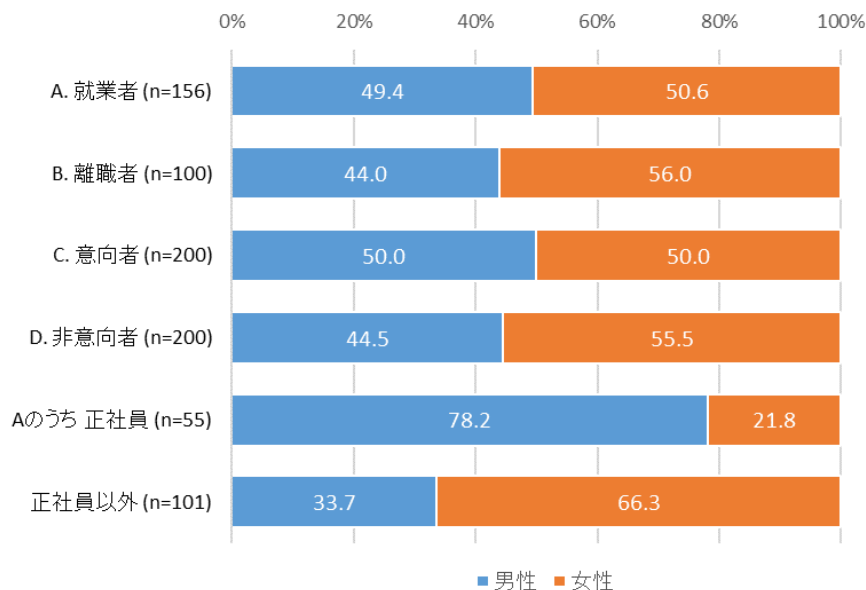
※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A.就業者は女性が50.6%で約半数を占めている。

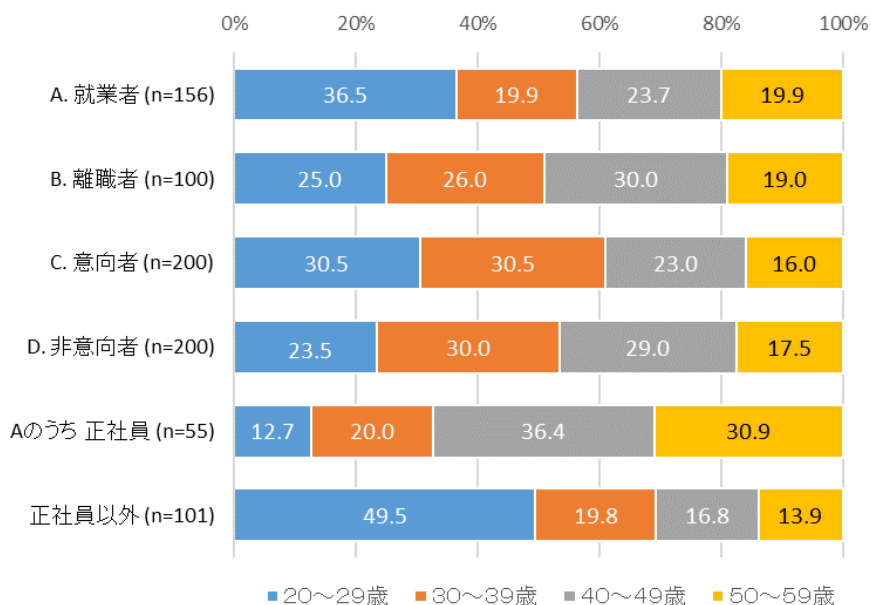
A.就業者のうち、正社員^{*1}では8割弱が男性、正社員以外^{*2}では7割弱が女性となっている。



■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A.就業者では20代が36.5%でもっとも多くなっている。

A.就業者のうち、正社員では40代と50代の割合が高く、正社員以外では20代が約半数となっている。



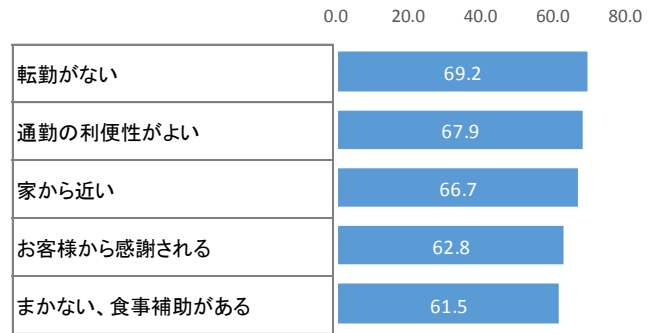
*1 自営業者などを含む。

*2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、正社員以外のうち学生アルバイトは27.7%。

まとめ —それぞれの上位5項目—

■ 仕事の選択理由 就業者の上位5項目

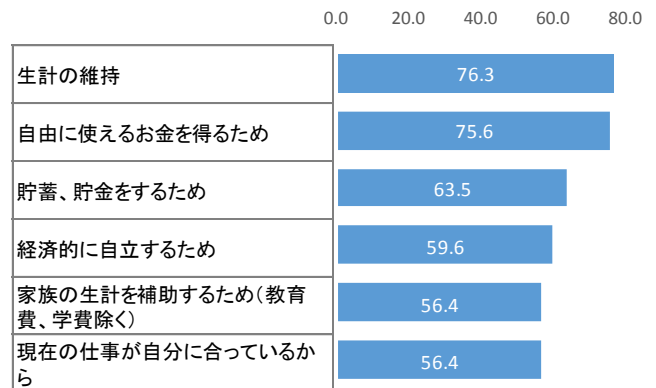
現在居酒屋で働いている就業者にその仕事を選んだ理由を聞くと、上位3項目は勤務場所に関することだった。次いで、「お客様から感謝される」「まかない、食事補助がある」といった点があげられた。



(%, n=156)

■ 仕事を継続する理由 就業者の上位5項目

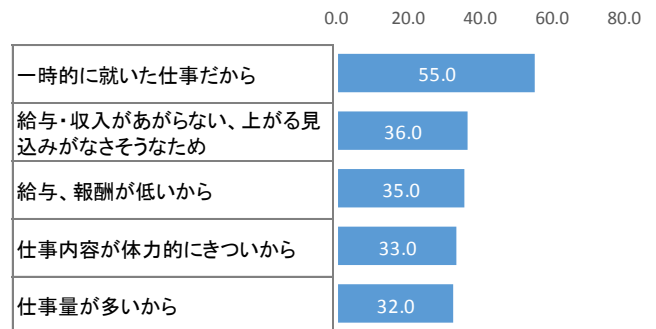
就業者が居酒屋で仕事を続けている理由は、「生計の維持」と「自由に使えるお金を得るため」が7割を超えるなど、経済的なものが上位を占めている。また、「現在の仕事が自分に合っているから」という理由も半数以上の人があてはまると回答している。



(%, n=156)

■ 離職の理由 離職者の上位5項目

以前は居酒屋で就業していたが現在は辞めている離職者に、その離職の理由を聞いた。もっとも多いのは「一時的に就いた仕事だから」だった。次いで給与面や業務負荷の高さが上位にあがった。

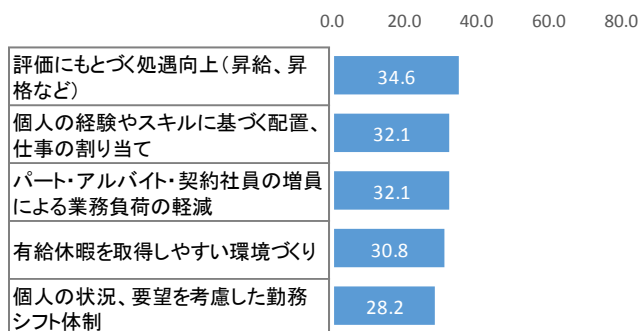


(%, n=100)

まとめ —それぞれの上位5項目—

■ 必要を感じる改善点 就業者の上位5項目

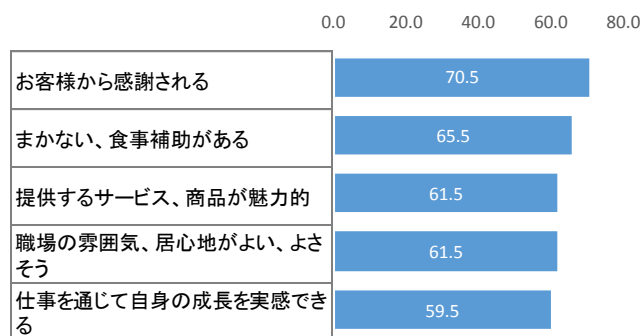
居酒屋の就業者に改善が必要だと思う点を聞くと、「評価にもとづく処遇向上（昇給、昇格など）」のほか、「個人の経験やスキルに基づく配置、仕事の割り当て」「パート・アルバイト・契約社員の増員による業務負荷の軽減」といった、負担の軽減を求める意見が上位にあがっている。



(%, n=156)

■ 意向の理由 意向者の上位5項目

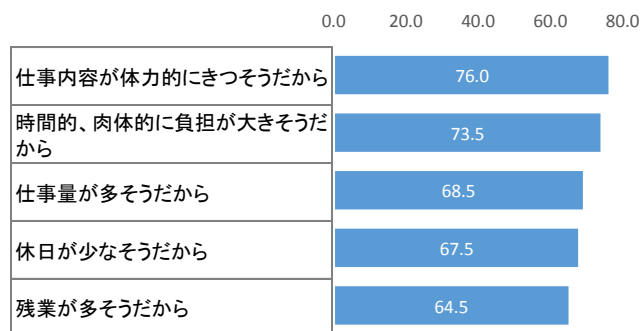
居酒屋での就業経験はないが就業に興味関心はある意向者にその理由を聞くと、「お客様から感謝される」「まかない、食事補助がある」「提供するサービス、食品が魅力的」「職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう」など、やりがいや居心地のよさがあげられた。



(%, n=200)

■ 非意向の理由 非意向者の上位5項目

居酒屋での就業経験がなく就業に興味関心もない非意向者に、その理由を聞いた。「仕事内容が体力的にきつそうだから」「時間的、肉体的に負担が大きそうだから」など、労働負荷に関するものが上位5項目にあげられた。

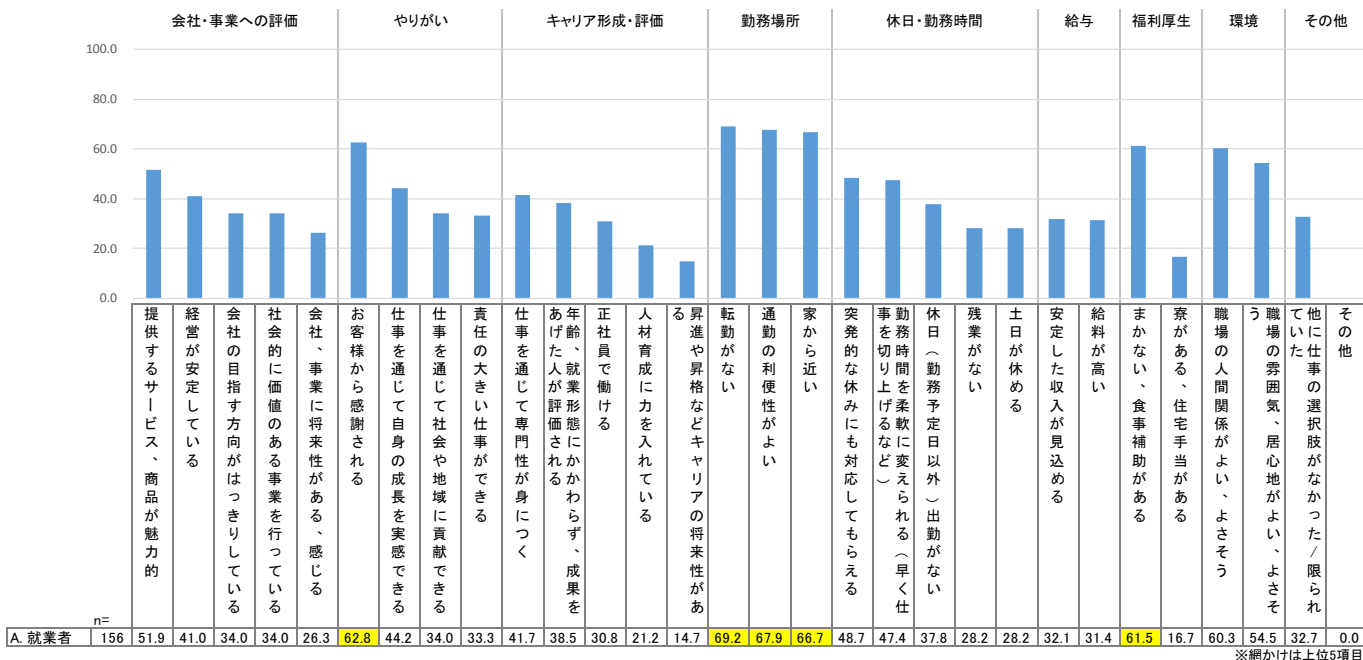


(%, n=200)

1. 仕事の選択理由

A. 就業者

現在居酒屋で働いている就業者に、その仕事を選んだ理由を聞いた。上位3項目は「転勤がない」「通勤の利便性がよい」「家から近い」という、勤務場所に関することだった。次いで、「お客様から感謝される」「まかない、食事補助がある」といった点があげられた。利便性や、お客様との距離の近さが魅力となっているようだ。また、「職場の人間関係がよい、よさそう」「職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう」も5割以上となっている。



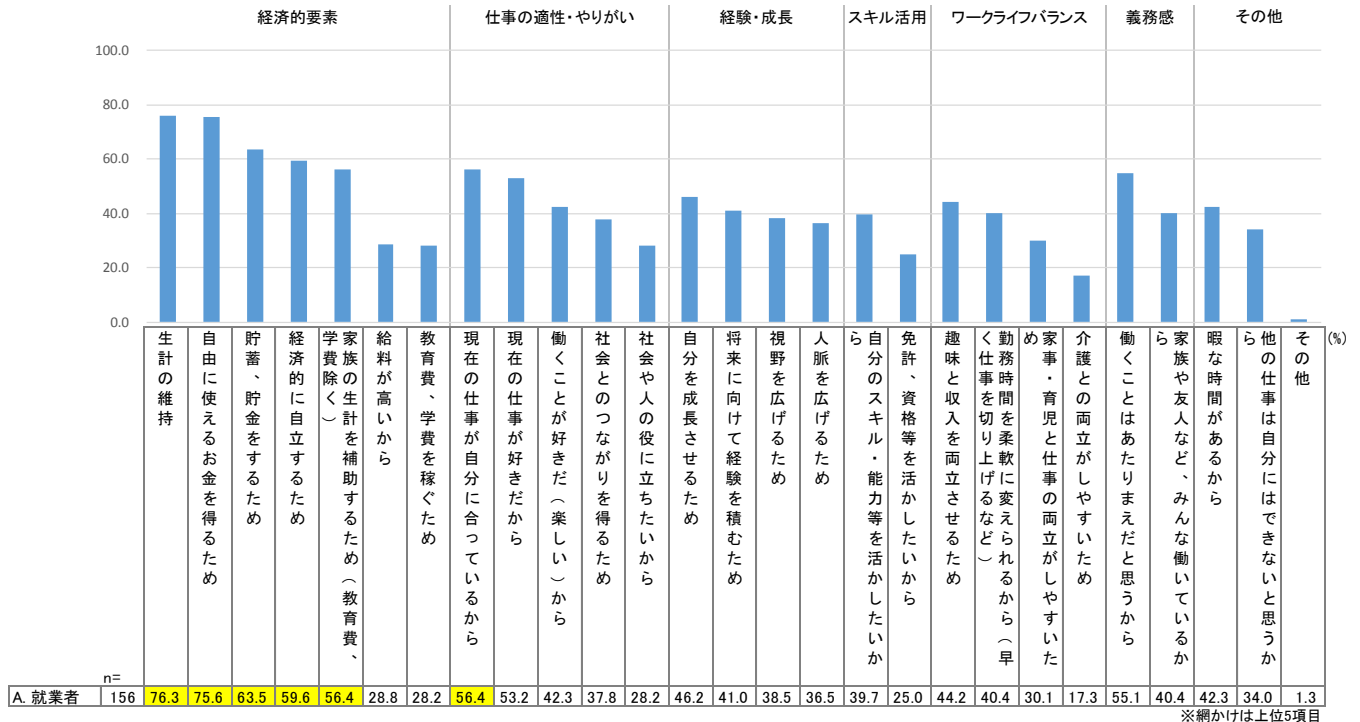
【A. 就業者】

Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。（非常にあてはまる・ややあてはまる計／MA）

2. 仕事を継続する理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

現在居酒屋で働いている就業者に、居酒屋で仕事を続けている理由を聞いた。「生計の維持」と「自由に使えるお金を得るため」が7割を超えるなど、経済的なものが上位を占めている。また、「現在の仕事が自分に合っているから」という理由も半数以上の人があてはまると回答している。

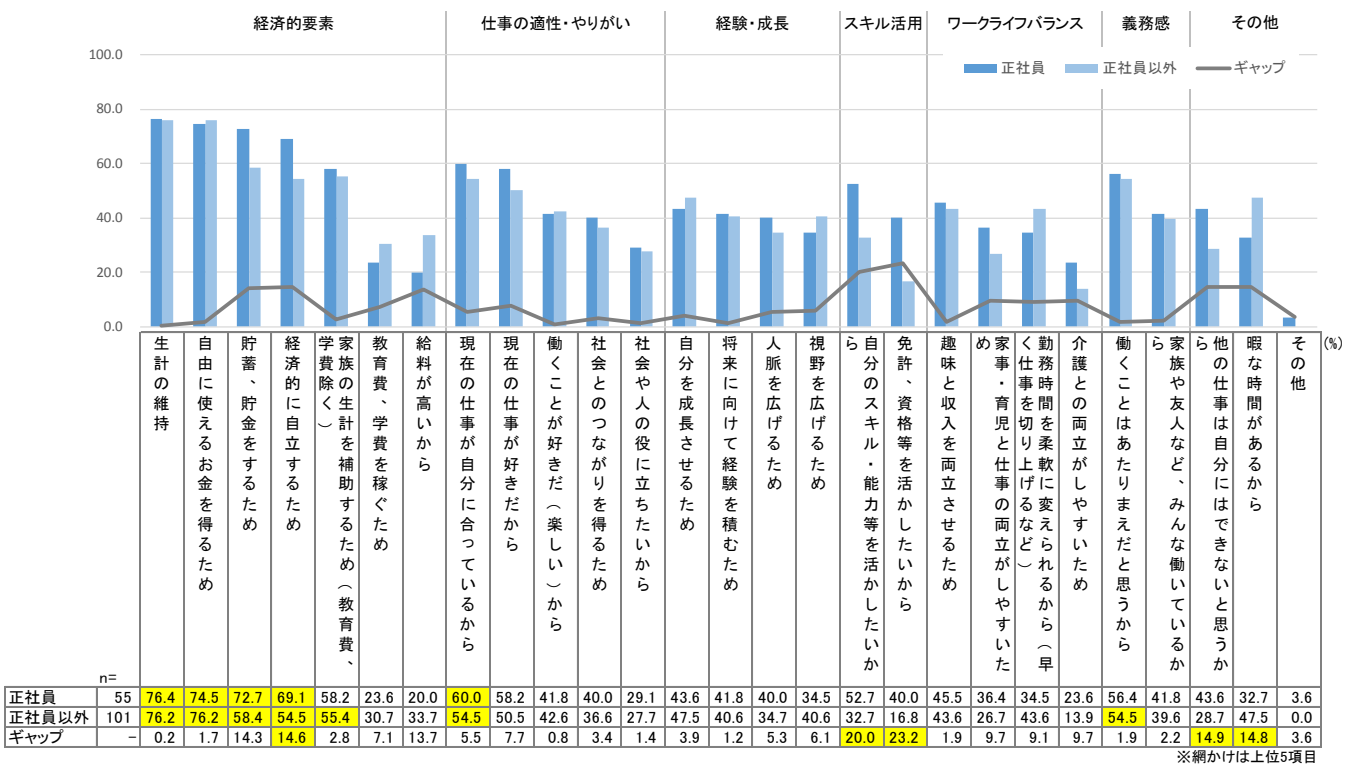


[A. 就業者]

Q. あなたが現在、「飲食サービスの仕事（居酒屋での接客や調理）」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計／MA）

2. 仕事を継続する理由

現在の仕事を続けている理由について、就業者を正社員と正社員以外で分けて確認してみよう。ともに上位は「生計の維持」「自由に使えるお金を得るため」などの経済的要素があげられている。正社員と正社員以外でのギャップが大きいのは「免許、資格等を活かしたいから」「自分のスキル・能力等を活かしたいから」「経済的に自立するため」「他の仕事は自分にはできないと思うから」などで、これらはいずれも正社員の方が高くなっている。

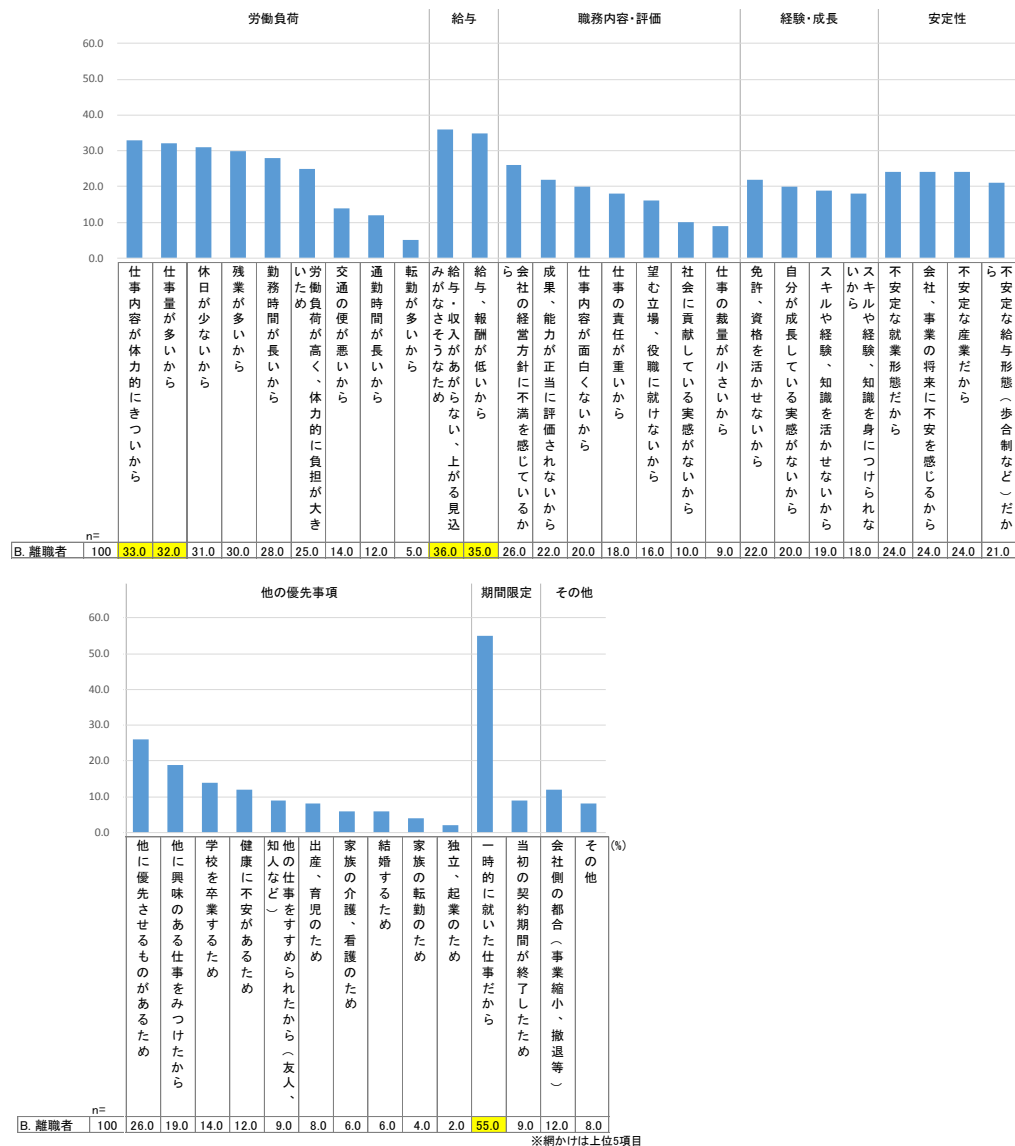


【A. 就業者】
Q. あなたが現在、「飲食サービスの仕事（居酒屋での接客や調理）」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計／MA）

3. 離職の理由

B. 離職者

以前は居酒屋で就業していたが現在は辞めている離職者に、その離職の理由を聞いた。もっとも多いのは「一時的に就いた仕事だから」だった。次いで「給与・収入があげられない、上がる見込みがなさそうなため」や「仕事内容が体力的にきついから」といった理由があげられた。



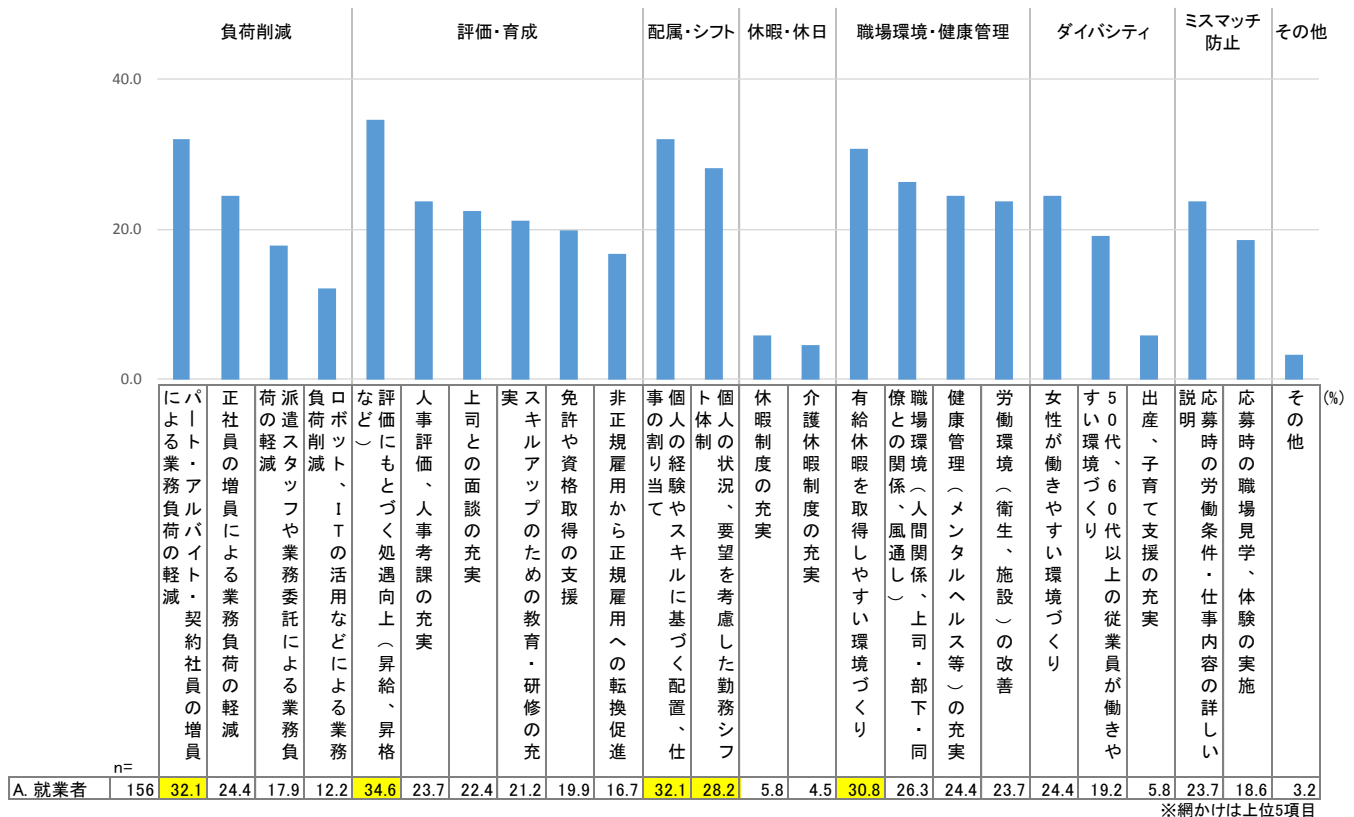
【B. 離職者】

- Q. あなたが以前、「飲食サービスの仕事（居酒屋での接客や調理）」で働いていたにもかかわらず離職した（やめた）のはどのような理由からです。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

4. 必要を感じる改善点

A. 就業者

居酒屋で働いている就業者に、現在の勤務先でどのような改善が必要だと思いかを聞いた。まず多かったのは「評価にもとづく処遇向上（昇給、昇格など）」だった。また、「個人の経験やスキルに基づく配置、仕事の割り当て」「パート・アルバイト・契約社員の増員による業務負荷の軽減」といった、負担の軽減を求める意見も上位にあがっている。負担軽減や評価・育成についての希望は、前頁で見た離職者の離職理由とも対応していると言えるだろう。



[A. 就業者]

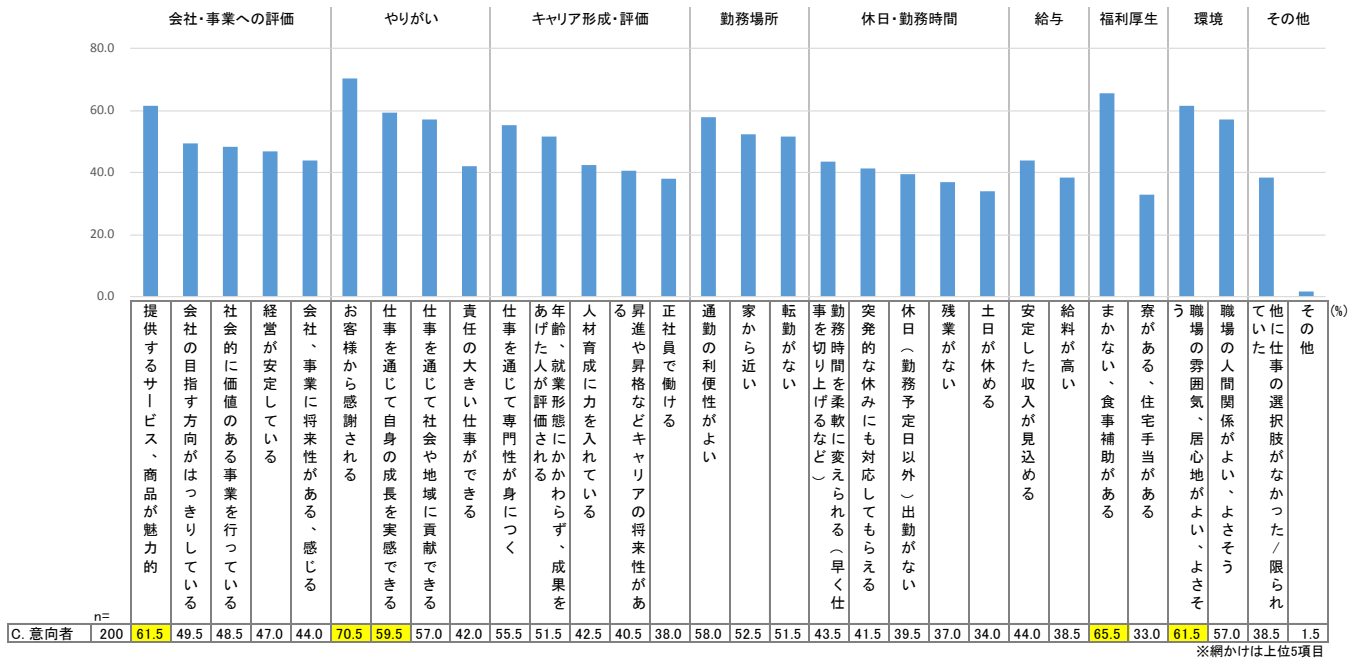
Q. あなたの勤務先（店舗、事業所、支社）は何らかの改善が必要と思われますか。（非常に必要・必要計/MA）

5. 意向・非意向の理由

C. 意向者、D. 非意向者

居酒屋での就業経験はないが就業に興味関心はある意向者に、その意向の理由を聞いた。上位には現在居酒屋で働いている就業者が仕事を選んだ理由と同様に、「お客様から感謝される」「まかない、食事補助がある」などがあげられた。

「提供するサービス、食品が魅力的」「職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう」「仕事を通じて自身の成長を実感できる」も上位となっており、居酒屋が身近な存在だからこその理由と言えるだろう。

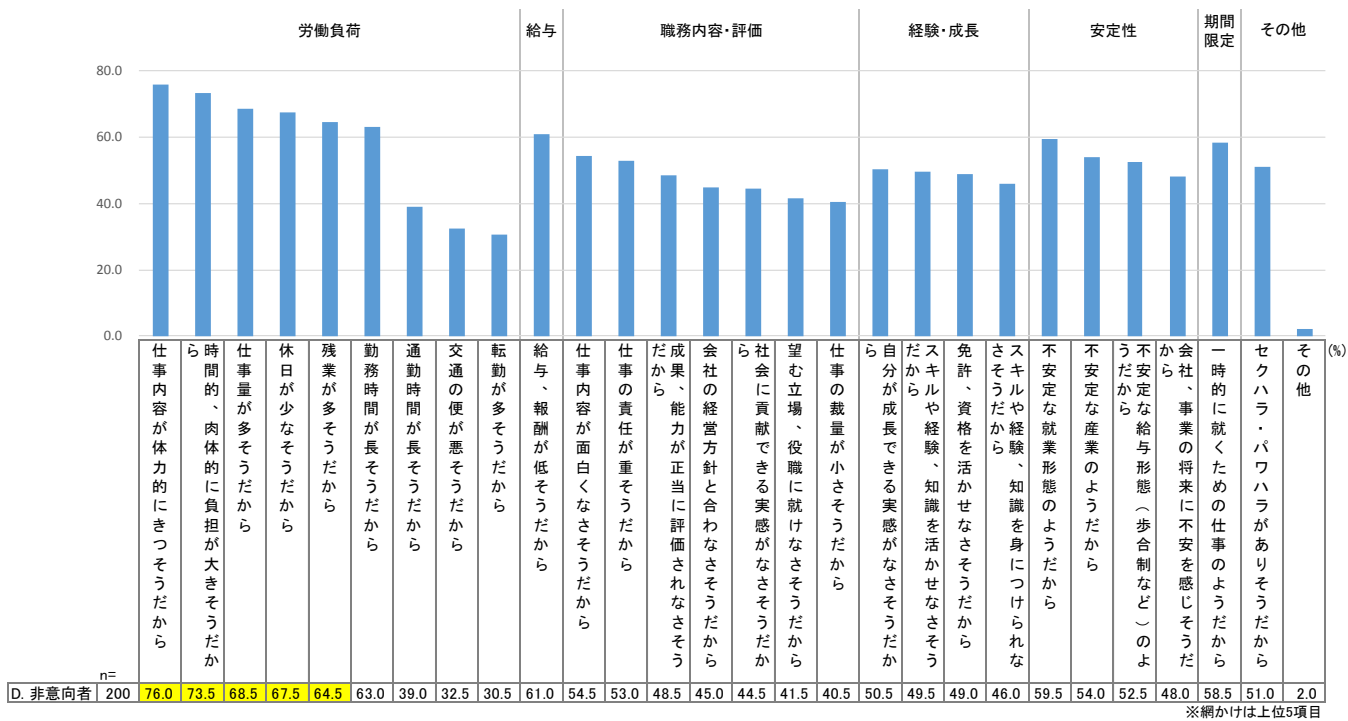


[C. 意向者]

- Q. あなたが、「飲食サービスの仕事（居酒屋での接客や調理）」に「是非働いてみたい」または「働いてみたい」とお答えになったのは、どのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計／MA）

5. 意向・非意向の理由

居酒屋での就業経験がなく就業に興味関心もない非意向者に、その理由を聞いた。まず「仕事内容が体力的にきつそうだから」「時間的、肉体的に負担が大きそうだから」など、労働負荷に関するものが上位5項目にあげられた。また、「給与、報酬が低そうだから」も約6割の人があてはまると回答している。非意向者が抱く居酒屋で働くことへの懸念は、実際の離職者が不満に感じることに一致している部分がある。



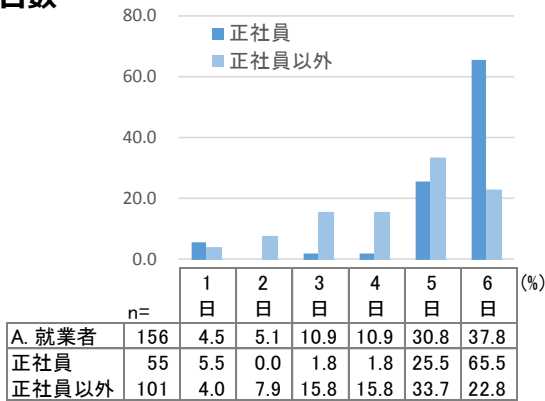
【D. 非意向者】

Q. あなたが、「飲食サービスの仕事（居酒屋での接客や調理）」に「働きたくない」または「全く働きたくない」とお答えになったのはどのような理由からですか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

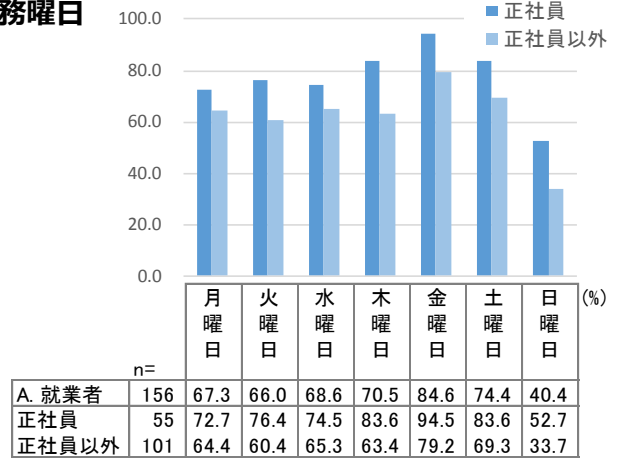
【参考】勤務時間

A. 就業者／正社員と正社員以外

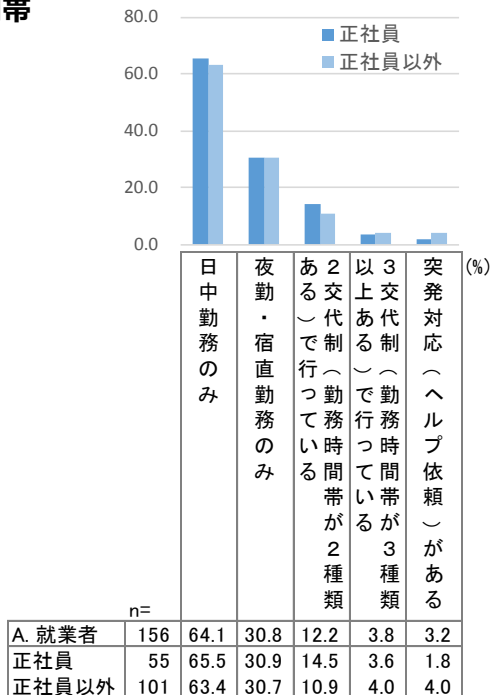
■ 1週間の勤務日数



■ 勤務曜日



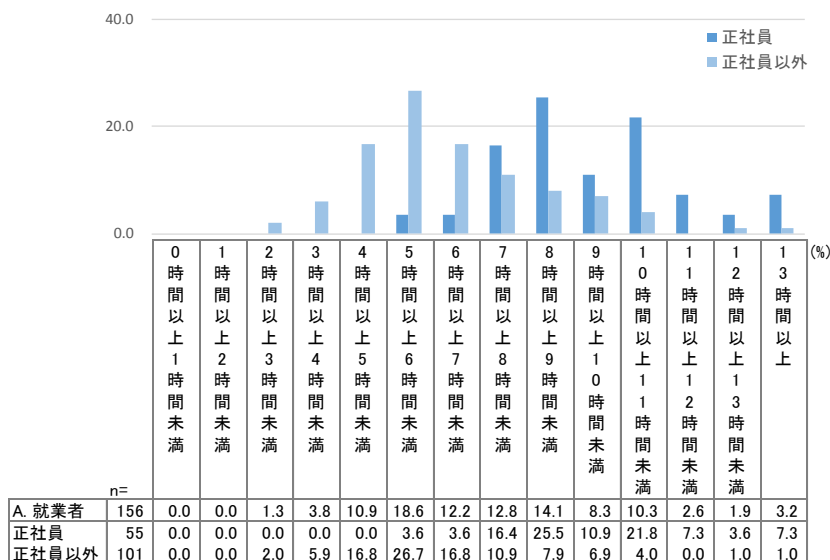
■ 勤務時間帯



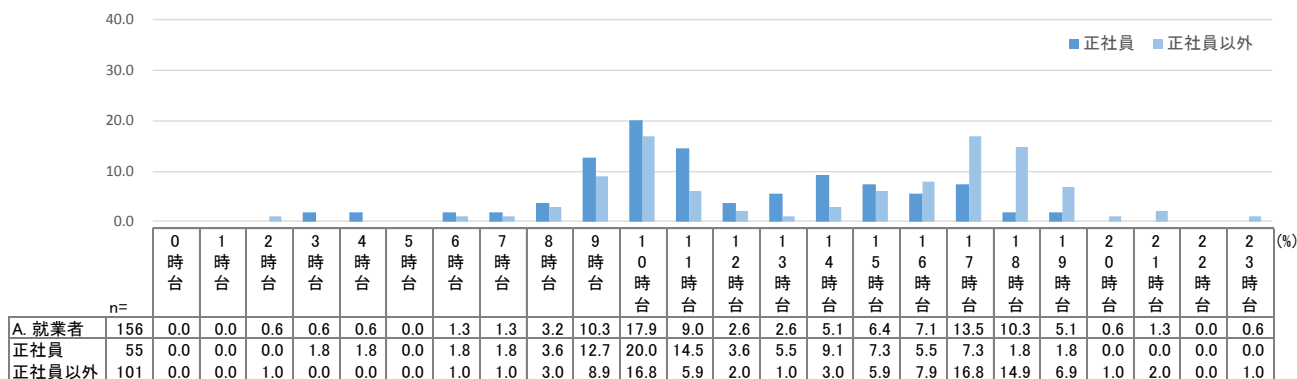
【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1週間の勤務日数をお知らせください。（N U）
- Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1週間の勤務曜日をお知らせください。（M A）
- Q. あなたの勤務の時間帯であてはまるものをお知らせください。（M A）

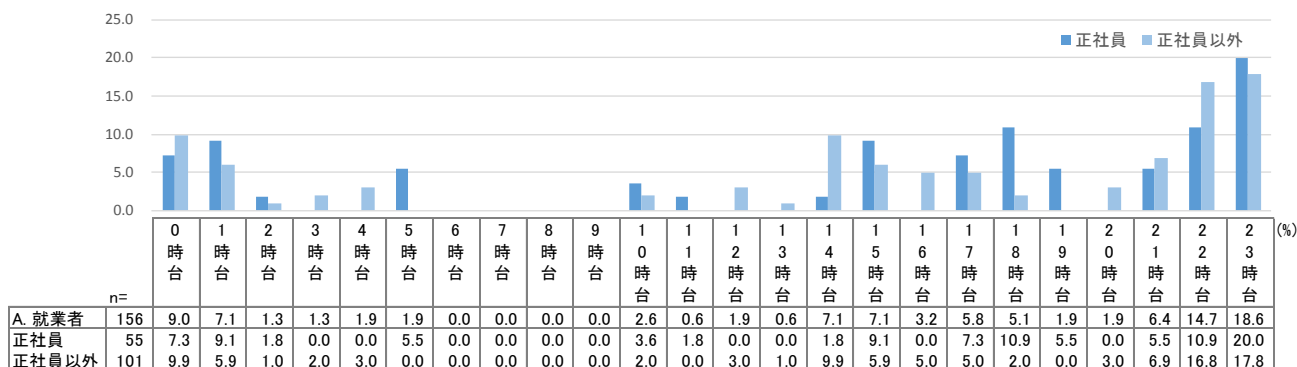
■ 1日あたりの 平均勤務時間



■ 就業開始時刻



■ 就業終了時刻



【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1日あたりの平均勤務時間をお知らせください。（N U）
- Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1週間の勤務の就業開始時刻と終了時刻について多い順に記入してください。／パターン1（N U）